

## 第5回伊賀市、名張市、笠置町及び南山城村ごみ処理広域化検討協議会

### 議事録

【日 時】2026(令和8)年4月20日(月) 午前11時00分～11時20分

【場 所】さくらリサイクルセンター 大会議室

#### 【出席者】

伊賀市長 稲森 稔尚

名張市長 北川 裕之

笠置町長 山本 篤志

南山城村長 平沼 和彦

三重県環境生活部環境共生局 廃棄物対策総括監 中島 伸幸

京都府総合政策環境部 技監 笠原 淳史

伊賀市人権生活環境部長 瀧口 嘉之

伊賀市人権生活環境部次長 永岡 紀子

名張市地域環境部長 野口 泰弘

名張市地域環境部環境対策室長 恵村 和生

名張市地域環境部環境対策室係長 大浜 隆暢

笠置町参事 前田 早知子

笠置町税住民課長 岩崎 久敏

南山城村副村長 中嶋 孝浩

南山城村建設環境課長 末廣 昇哉

南山城村建設環境課係長 和田 武志

伊賀市、名張市、笠置町及び南山城村ごみ処理広域化検討協議会 事務長 馬場 俊行

伊賀市、名張市、笠置町及び南山城村ごみ処理広域化検討協議会 内田 恵美子

伊賀市、名張市、笠置町及び南山城村ごみ処理広域化検討協議会 福岡 一輝

伊賀市、名張市、笠置町及び南山城村ごみ処理広域化検討協議会 辻井 堅一

伊賀市、名張市、笠置町及び南山城村ごみ処理広域化検討協議会 森西 達也

三重県伊賀地域防災総合事務所環境室長 中川 隆司

京都府山城広域振興局 副局長 島田 和幸

京都府山城南保健所 技術次長兼環境衛生課長 中西 理恵

伊賀市人権生活環境部 さくらリサイクルセンター所長兼不燃物処理場長兼浄化センター所長  
杉野 寛

伊賀南部環境衛生組合 事務局長 福田 浩士

#### ■1. 開会

(事務局)

定刻になりましたので、ただいまより、第5回伊賀市、名張市、笠置町及び南山城村ごみ処理広域化検討協議会を始めさせていただきます。議事までの進行をさせていただきます協議会事務長の馬場です。よろしくお願いいたします。

また、本日の協議会開催にあたり委員の皆様全員、ご出席いただいております。協議会規約第15条第1項の規定を満たしておりますので、会議が成立していることを報告させていただきます。尚、会議録の作成のため、本会議につきましては録音させていただきますので、その旨ご了承ください。

さい。

それでは、次第のとおり、本日の議事進行について、会長の伊賀市稲森市長にお願いしたいと思っております。会長、宜しくお願いします。

(会長)

みなさんどうぞよろしくお願いいたします。

はじめに、本日の協議会の主旨を説明させていただきたいと思っております。

2月に基本構想の答申をいただきましたが、中でも、操業期限までに迅速に検討を進めるようにと示されておりました。その意向に沿って各市町村において、ごみ処理広域化に向けた検討を進めていただいております。答申から2か月が経過し、各市町村が広域化についてどう考えるか、事業方式は何か良いと考えているのかといった現時点での各市町村での検討の状況をお聞かせいただき、引き続き広域化に向けた協議を続けていく場とさせていただきたいと思っております。

ご承知のように、令和6年3月の環境省通知でも示されているように、これからの時代を見据えて持続可能な、効率的なごみ処理体制を構築していくと、こういう広域化の意義については、みなさんご理解いただいていると思っておりますのでその認識のもと協議をさせていただきたいと思っております。

## 2. 議事

### ■(1)「各市町村の検討状況の共有について」

(会長)

それではその認識のもと、協議を進めていきたいと思っております。議事の(1)「各市町村の検討状況の共有について」ですが、現時点の各市町村の検討状況についてそれぞれの市町村長様からご報告いただきたいと思います。

まずは、名張市の北川市長よりご報告をお願いします。

(副会長)

名張市の北川でございます。先に基本構想の答申をいただいたわけでございますけれども、その中で、事業方式についての検討ですが、公設民営について、これは、安定的な処理は可能ですけれども、建設費であったり将来的な物価・金利上昇のリスク、特に金利どんどん上がってきております。また、人口減少も進んでおりますので、ごみ量減少の影響を考えますと、財政負担が過大となる懸念があると考えます。特に名張市の場合、今後投資事業といいますか、他の重要事業との兼ね合いもございますので、公設民営について現段階で良いとも悪いともなかなか言えない状況であるというところであります。

一方、公民連携については、ごみ量に応じた負担が可能なため、持続可能な手法として評価しているところでありますが、名張市において公民連携が実現可能であるのかどうか、またどのような要件がたりていないのか、その詳細を明らかにしていかなければならないと思っております。そういう意味で、これから民間参入の可能性やリスク分析を行って、今後必要な調査を進めたいと考えているところであります。

また、広域化については、当然のことではありますけれども、名張市としては、財政負担の低減と、安定的な処理体制の確立を目指していくということで、4つの市町村で協調し、将来世代に負担を先送りしない最も合理的かつ最適な解を導き出すため、フラットな立場で検討をさせていただいているところでございます。私からは以上です。

(会長)

ありがとうございました。

続きまして、笠置町の山本町長よりご報告をお願いします。

(笠置町長)

笠置町でございます。笠置町におきましては町財政が非常に逼迫しているということ、お恥ずかしながら通常の行財政運営も難しい状態であるということも事実であるところでございます。そのような中で、基本構想検討委員会で検討いただいた内容につきまして、内部で協議を重ねてきたところではございますけれども、組合設立、民間活用ともに多額の負担が生じるというのは、正直なところではございますけれども、そのようなところから考えましても非常に厳しい検討を強いられているのが実際のところでございます。しかしながらやはりこれまで続けてきた協議体でございますので他市町村と連携し効果的な方法を追求したいと考えている。というのが笠置町の現状の検討状況でございます。以上でございます。

(会長)

それでは、南山城村の平沼村長よりご報告をお願いします。

(南山城村長)

南山城村は、4市町村での広域化に向けまして、答申をもとに内部で協議をしてきました。村は小規模自治体でありまして、ごみ処理の分野は特に村単独では解決できない部分が多くあります。したがってこの枠組みでの協働が非常に重要と考えています。村としては、多少の条件はあるものの、組合設立、民間活用ともに事業方式として選択することができるために、4つでの広域化をなんとか実現したいと考えています。以上でございます。

(会長)

ありがとうございます。ここからは、会長としてではなく、伊賀市長として発言をさせていただきたいと思えます。

伊賀市では、広域化の事業方式につきましては、市の財政負担や環境負荷、そして市内に2つあります、ごみ処理施設の立地地域の住民の皆様への思い、そして過去の産業廃棄物処理に対する市民のみなさんの思いなどさまざまな観点から検討してまいりました。

2月に基本構想を策定し、その内容を確認しつつ、先ほど挙げた観点を踏まえ、改めて検討を重ね、これまで、4市町村の枠組みで検討を重ねてきましたので、この地域全体でどのような事業方式が望ましいかという視点も重視すべきであると考えています。

その結果、伊賀市といたしましては、現時点において4市町村で行うごみ処理広域化については公設民営、DBOの方式が最も望ましいと考えています。公共の責任の中で、民間の優れた技術を活用し、長期間にわたって安心安全が守られるというふうに考えています。

しかし、いずれの事業方式を採用するにしても、単独で整備するには課題がありまして、これからの経済的負担が大きくなるという課題もありますので、この4つの市町村での、引き続きこの圏域でどうやって取り組んでいくのかというような協議を引き続き丁寧にやっていきたいというのが現時点での考えです。以上です。

それでは、名張市長、笠置町長、南山城村長のご発言をいただきまして、ありがとうございました。

現段階での4市町村の広域化に対する検討状況をお聞かせいただきました。それぞれのご事情を踏まえて、さらに内部協議を進めてきていただいたものと思います。

■(2)今後の進め方について

今のご発言を受けて、次の議事「今後の進め方について」に移りたいと思います。

各市町村の検討状況につきましては、先ほどご報告いただいたとおりです。現時点では各市町村の考えはそれぞれ異なっていますが、4市町村での広域化は必要であるという認識を確認できたかと思います。

引き続き、広域化を目指して4市町村で協議を継続することとしたいと思いますが、現施設の操業期限が令和16年3月と迫っていき、事業スケジュールには余裕はありません。そのため、事業方式を中心とした協議を今後も継続していただき、6月2日に開催を予定しております第6回検討協議会で最終的な確認を行いたいと思います。

また、広域の枠組みで取り組めることは可燃ごみの処理だけでなく、資源ごみリサイクル施設の共同運営であったり、ごみ減量化・再資源化の施策連携なども考えられるので、様々な今後の連携の可能性を模索していきたいと考えていますが、この点についてご異議ございませんか。

(全員異議なし)

(会長)

ご異議が無いようですので、今後は、副市長や参事、副村長も含め事務方で早急に協議を進めていきたいと思っております。これでよろしいですか。

(全員意義なし)

(会長)

ご異議が無いようですので事務局のほうでよろしく申し上げます。

それでは、議事を終了し、事務局にお返ししたいと思います。ありがとうございました。

(事務局)

稲森会長、委員の皆様、ありがとうございました。

それでは、先ほどご協議いただきましたように、6月2日の検討協議会で一定の結論を出すべく検討を進めていきたいと思っております。

以上をもちまして、第5回 伊賀市、名張市、笠置町及び南山城村ごみ処理広域化検討協議会を閉会といたします。ありがとうございました。